

令和6年度入学 社会福祉学部 編入学（一般）試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
総合問題	1	菊池 聡 山岡 重行 編著	「オタクの系譜学」 『サブカルチャーの心理学 カウンターカルチャーから「オタク」 「オタ」まで』	2020年 P40-45より 一部改変	福村出版
	2	Andrew Solomon	Far from the Tree :Parents,Children and the Search for Identity	2014 P2・5より 一部改変	Vintage Books
	3	高張 陽子 横山登志子・須藤八 千代・大嶋栄子 編 著	「自分の中のとらわれに抗う」 『ジェンダーからソーシャルワークを 問う』	2020年 P312-314 より 一部改変	ヘウレーカ

令和6年度 編入学（一般）

社会福祉学部
総 合 問 題 (120分)

注 意 事 項

1. **試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。**
2. この冊子は、**7ページ**あります。なお、下書き用紙が2枚あります。
3. 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、必ず**黒鉛筆**（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
5. **解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。**
6. **解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。**
7. 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 70 点)

現在の大学生たちに、何が「おたく」への偏見を変えたのだろうか？と質問すると、ジブリアニメや手塚治虫作品が大人にも再評価されたり、ゲームが文化として認知されたりしたことが大きいのではないかと、「おたくコンテンツ」の充実や、それによるファン層の拡大を挙げる学生が多い。中には、鋭い目の付け所として、おたく文化で育った人が社会の中核になってきたからという世代交代論もある。

これらは、確かに重要ではある。しかし、初期のおたくステレオタイプが、宮崎事件²という[A]的な要因によって形作られたように、現在のようにオタクが広く受け入れられる過程は、文化に[B]在するものではなく、社会状況の変化によってもたらされたと考えられる。中でも最も強力な影響をもたらしたのは、バブルの崩壊による日本経済の変化、簡単にいうと、没落である。

(中 略)

つまり、おたくが注目されたのは、その経済的役割であって、それはまさに日本の経済状況の悪化を表している。日本経済は、80年代後半、バブルと呼ばれる好景気に未曾有の盛り上がりを見せた。不動産は高騰し、東京23区の地価でアメリカ全土が買えるとまで言われた。この資産価値の上昇によって、高度消費社会が進展し、ブランドものの服でも車でも不動産でも、高価なものから飛ぶように売れたという。消費こそ善という価値観が蔓延した時代である。若者の間では、こうした消費文化と直結した恋愛を楽しむ傾向がもてはやされ、そこに生じる階層や葛藤も含めて「恋愛資本主義」とも揶揄された。テレビでは、トレンドィ・ドラマが人気を博することになる。

もちろん、旧来の意味でのおたくたちは、この流れの[C]にあり、恋愛資本主義からもバブル市場からも疎外者として扱われていた。しかし、バブル崩壊で状況は一変する。90年3月に金融引き締め、不動産融資総量規制が行われバブルがはじけ、日本は長い不況の時代に突入した。我が世の春を謳歌した消費文化は一気に縮小し、消費の低迷は深刻な状況となっていったのである。

この経済的不況の到来で、おたく消費が注目を集めることになる。すなわち、おたくは流行に背を向けて、自分が好きなジャンルのものであれば、たとえ自分の生活(や家庭生活、人間関係すら)を投げ打つても、映像ソフトやゲームソフトにお金を使うのである。バブル期には大きな市場の陰で見向きもされず、ごくニッチな状況であったが、おたくたちはアニメに同人誌に秋葉原に堅固な経済圏を形作ってきた。日本経済の地盤沈下によって、このおたく経済が相対的に浮かび上がってきたのである。

(中 略)

その後、多くの企業がオタク市場をターゲットとしたマーケティングに次々と乗り出したのは、当時のおたくたちには驚きをもって迎えられたが、こうした動向は現在では全く珍しいことではなくなっている。

経済の動きに政治も連動した。2002年に当時の小泉首相は施政方針演説の中で「知財立国宣言」を行い、知的財産戦略会議を設立する。経済産業省は「コンテンツ産業による波及効果は、経済文化の双方から国家ブランド価値増大に貢献」という方針を打ち出した。これらは輸出産業振興による経済浮揚を意図しての施策である。続けて制定されたコンテンツ促進法(第2条)では、映画・音楽・演劇・文藝・写真と並んで、漫画・アニメーション・コンピュータゲームを産業と位置づけた。2000年に「文部科学白書」がマン

ガを日本の代表的な文化として紹介したことも、^①当時のおたくたちを驚かせた。かつて教育界にとってマンガは俗悪な撲滅すべき対象ですらあったのだ。手塚治虫や永井豪の作品が弾圧の対象となり、PTAの悪書追放運動によって焚書まで行われたことを初期のおたくたちは忘れない(焚書は比喻ではなく、本当にマンガが校庭に集められて燃やされる例が相次いだのである)。そのマンガが、日本を代表する文化として位置づけられたというのだ。日本の大人たちはおたく国策化へと、手のひらを返したのである。ここに太平洋戦争の敗戦後、軍国主義から民主主義へと手のひらを返した大人たちに抱いた強烈な不信にも似た、初期のおたくにとっての自己認識の問題が浮上するのである。

おたく文化の渦中にあった青少年たちは、大人たちの思惑に基づく「おたく(経済)評価」の流れを、基本的には前向きにとらえた。当時、おたく文化の享受者であった筆者もそんな1人だった。流通するコンテンツが増加し、ニッチな関連商品も市場に投入されるようになるのは、金はかかるが単純にうれしい時代の到来に違いない。しかし、初期のおたく(第1世代と称される人たちが)心理的に混乱したことも想像に難くない。彼ら、彼女らは、それまでの白眼視や差別に耐えて、それでもその趣味を追い求めてきた層である。学生運動以来のメインカルチャーに対する反発もあっただろう。世間や親の迫害にめげることなく、自分の好きな「子どもじみた趣味」にこだわり続けた。だが、そのことを堂々と語ることは世間体から難しく、そのために自らを「おたく」と^②自虐的に自己規定し、疎外されつつも小さなコミュニティを築いてきたのである。そんな自分は全く変わっていないのに、その価値観がにわかには転倒した。背景に経済的なオトナの事情を見つけ出した者は、さらにシニカルとなるだろう。

(中略)

こうしたおたく再評価において見逃せない要因となったのが、日本のアニメが海外で高い評価を得て、その評価が日本に逆輸入されたことである。海外には宮崎事件のスティグマは希薄であり、また子ども向けのアニメはもともとアジアや欧米の市場で(海賊版を含めて)よく知られていた。そのアニメ文化で育った若者に向け、日本のおたく的なアニメはジャパニメーションという言葉とともに作品としての影響力も持つようになった。

(中略)

実際には、日本のアニメーション作品(ジャパニメーション)が世界的には成功していると言いがたいことも、冷静に検証されている。しかし、おたく層にとっては、いわばこの海外からの評価は、おたくの理論武装に「必要」だったと考えるべきだろう。すなわち、コンテンツの価値を語る上で、その素晴らしさは一部のおたくだけでなく、海外からも認められているのだという論法は、経済面はともかく、文化としてのおたくを軽蔑する世間に対する強力な反論の拠り所になる。すなわち、文化を見る目がないのは、あなたたち日本の常識人の方だ、という論法がなりたつのである。これは、自らのおたく趣味に後ろめたさを感じていればいるほど、^③必要な自己正当化でもある。

(菊池聡「オタクの系譜学」、山岡重行編著『サブカルチャーの心理学 カウンターカルチャーから「オタク」「オタ」まで』、福村出版、2020年、pp.40-45より、一部改変)

注1：宮崎事件・・・宮崎勤が1988年から1989年にかけて幼女・女兒を誘拐し殺害した事件で、宮崎勤が

いわゆるおたくとして報道された。

注2：本文中に「おたく」と「オタク」という表記があるが、これらは筆者の表現に則している。

問1 下線部の(ア)～(エ)の漢字をひらがなに直しなさい。

問2 文中の空欄A～Cには「内」「外」のどちらかが入る。それぞれに入る言葉を答えなさい。

問3 下線部(1)の「当時のおたくたちを驚かせた」とあるが、「当時のおたくたち」の考えと、驚かせた内容と理由を本文に即して140文字以上160文字以内で説明しなさい。

問4 下線部(2)の「必要な自己正当化」とは誰による何についての「自己正当化」なのかを110文字以上130文字以内で説明しなさい。

2 次の英文を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 60 点)

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。

(Andrew Solomon, "*Far from the Tree: Parents, Children and the Search for Identity*", Vintage Books, 2014, pp. 2・5 より, 一部改変)

問1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問2 文中の4つの空欄アに共通に入る最も適切な前置詞を1つ書きなさい。

問3 次の語句を並べかえて、文中の空欄AとBに入る適切な英語表現をそれぞれ書きなさい。

[A] bring / Catholic children / Catholic parents / tend / to / up / will

[B] had / in / mind / originally / they / what

問4 下線部②について、「古い・陳腐な」という意味を表す英語表現となるよう、空欄イに入る動詞 wear の適切な活用形を書きなさい。

問5 文中の空欄ウに入る最も適切な語を以下から1つ選び、英語で書きなさい。

despises, differs, resembles, respects

問6 以下の英文が挿入されるのに最も適切な本文中の位置を探し、その直前の3語を抜き出し、英語で書きなさい。

The children I describe here have horizontal conditions that are alien to their parents.

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 70 点)

私は大学卒業後、精神科病院や司法公的機関で精神保健福祉士として働いていたが、その間に結婚し、子ども 2 人をもうけた。2 人目の子どもは①センテンセイの病気を持って生まれたため、生後 1 か月で気管切開^②し、常時、医療行為が必要となった。必然的に私は仕事から離れ、子ども中心の生活となった。近所に医療行為が必要な子どもを預かってくれる保育園はなく、親にお願いして何とか期間の決まった仕事をさせてもらったこともあった。幼稚園は母親である私の付き添いが入園の条件だったので仕事はあきらめ、制度の狭間^③にあった我が子に使えるサービスのなさに絶望し、毎日の幼稚園の付き添いに疲れ切っていた。

しかし、子どもが年長になった夏、気管孔^④を閉じることができた。日々に精一杯の私に仕事をできる気がせず、専業主婦として子育てに迷い、悩みながら過ごしていた。そんな私に大学時代の恩師であり、ソーシャルワーカーの大先輩が「⑤子どものありようイコール母親の評価という図式が内面化してしまう。抗うには知恵と仲間が必要だ」とジェンダーを学ぶソーシャルワーカーの集まりを紹介してくれた。復職する気のない私がソーシャルワーカーの集まりに参加してよいのかと戸惑ったが、現状をどうにかしたい私は勇気を出して参加し、みなさんにあたたかく迎えていただき、ホッとしたのを覚えている。

その時、抄読^⑥していたのがイギリスのレナ・ドミネリの『フェミニストソーシャルワーク——福祉国家・グローバリゼーション・脱専門職主義』（須藤八千代訳・明石書店）だった。経験も知識も浅い私には、非常に⑦ナンカイだった。相当に頭を悩ませながら読んだ。そうするうちに、それらの難しい言葉で表現されているものと、自分の人生経験のさまざまな出来事とつながるということが何度も起きた。

私たちの暮らしの中の何気ない出来事に悩んでいた背景は、ジェンダーの視点とつながっていたということに気がついた瞬間であり、⑧なぜこの集まりを紹介されたのかを理解した。そして、生活者という視点で支援するソーシャルワーカーがジェンダーを学ぶ意味を感じた。悩みは自分だけが抱えているものではなく、多くの女性が出会うものであり、社会全体を変えなければ変わらない大きな問題にもつながっていると知ることとなった。

例えば、家族の中で男女差を感じるがよくあった。稼ぎのある父親には絶対的に服従しなければならなかった。また、兄は大学進学、私は短大進学を想定されていた。母親になってからは、医療行為が必要な子どもを育てるために仕事を辞めるのは当たり前のように夫ではなく私であることに疑問を感じた。子育ての責任を一身に背負い、子どもが何かうまくいかないことがあると、自分の育て方のせいなのかもしれないと自分を責めたりした。子どもを預けて、自分の時間を持つことに罪悪感を覚えることもしばしばで、しかしそう感じてしまう自分自身に[A]を覚えた。つまり、性別や役割意識がもたらす見えない何かに、いつもとらわれていたのである。

おそらく、多くの女性たちが「女だから〇〇すべきだ」とか「母親なんだから〇〇してはいけない」と他者から指摘された経験をもっているのではないだろうか。それに⑨コンワクし、反発を感じながらも、それに従ってしまったことも少なくないのではないかと。そして、私は、いつのまにかその規範を自分自身の内面にも持つようになってしまい、誰かをジャッジしたり、区別したりしていた。そのことにふと気づいて、自分自身を責めることもたびたびあった。

私の中にあるとらわれに抗うことは、仲間とジェンダーについて学ぶこと、知ることである。それによって自分に起こっていることを再確認できるし、仲間と語り合うことで「社会の問題」と改めて認識しなおすことができる。それが抗うということなのだと感じられるようになった。

そんな私は5年ぶりに精神保健福祉士として復職した。実践の中で多くの方が男女限らずジェンダーによる生きづらさを抱えていると気づいた。その多くは自分にあてはめた^(a)セイザによる役割を全うできないことで「自分の人生、こんなはずじゃなかった」という嘆きと絶望、そして「とらわれ」である。しかし、ジェンダーという視点はそこに光をあて、時に希望を与えてくれる。それは少なくとも、「自分が原因」ではないと気がつくからかもしれない。自分と同じ苦勞を抱える人がいることに気づき、嘆きながらも「生きてみよう」と立ち上がり、同時になかなか変わらない社会にいらだちを覚え、転がりながら落としどころを見つけていくのではないか。

この仮説を持って、私の精神保健福祉士としての道は続く。

(高張陽子「自分の中のとらわれに抗う」、横山登志子・須藤八千代・大嶋栄子編著『ジェンダーからソーシャルワークを問う』、ヘウレーカ、2020年、pp.312-314より、一部改変)

注1：気管切開・・・喉の皮膚から気道までを切開し、呼吸をしやすくしたり、気管への唾液の垂れ込みを防いだりする処置。

注2：気管孔・・・気管切開によりできた出入口（穴）。気管カニューレという管を入れ維持し、衛生面での配慮も含めて医療的な管理が必要になるため、本人や家族にとっては負担になる。

問1 下線部(ア)～(エ)のカタカナを漢字にきなさい。

問2 本文中の空欄Aに入る適切な語句を、以下のア～オのうち1つ選び、記号で答えなさい。

ア 緊張感,	イ 嫌悪感,	ウ 使命感,	エ 存在感,	オ 達成感
--------	--------	--------	--------	-------

問3 下線部(1)「子どものありようイコール母親の評価という図式が内面化してしまう」とはどのような状態なのか、「内面」という言葉は使わずに本文の内容に即して80字～100字で説明しなさい。

問4 下線部(2)「なぜこの集まりを紹介されたのか」について、「この集まり」が作者に与えた影響を説明した上で、恩師が「この集まり」を紹介した理由について210字～240字で述べなさい。